

試験および成績評価について

1 受験資格について

1.次の事項に該当する者は、原則として認定試験を受けることができず、科目の時間数の取得が認められません。

(1)当該授業科目の出席時間数が、開講授業時間（遅刻、早退は3回で1回の欠席とみなします）

の80%に満たない者。

上記の場合、補講を受講し指定期日までに80%の出席を満たせば再試験を受験することができます

ます。

(2)授業料等の学納金を納入していない者。

(3)その他、職員会議において科目の時間数の取得資格の喪失を決議された者。

2 試験について

1.科目の時間数の認定試験には、本試験および追試験・再試験があります。

(1)本試験は原則として講義、演習科目はテスト補講期間に、実技科目は授業内に実施されます。

(2)正当な理由により本試験を受けることの出来なかった者は、1回に限り追試験を受験することが出来ます。

(3)本試験または追試験の成績が不合格であった者は、1回に限り再試験を受験することが出来ま

す。

(4)当該授業科目の出席時間が、開講時間の80%未満のものは、補講を受講し指定期日までに8

0%の出席を満たせば再試験を受験することができます。

2.科目の時間数の認定試験は、筆記試験、レポート、実技試験等によって行われます。

(1)試験については授業時間内に担当教授者から指示されます。

(2)レポートによる試験については、次のとおり定めます。

①用紙は各担当教授者の指定するレポート用紙を使用してください。

②ペンまたはボールペンを使用してください。鉛筆書きは認めません。

③レポートは本文とは別に表紙を1枚つけ、科目名、教授者名、課題名、学籍番

号、氏名等を

明記してください。

④レポートは用紙が散失恐れのない様にホッチキスなどで確実に綴じて提出してください。

⑤提出期限は厳守してください。原則として、期限後は受理しません。

⑥郵送による提出は認めません。

3 追試験および再試験について

1.追試験について

追試験は、公欠等やむを得ない正当な理由によって、定期試験を受験することができなかった者に
行う。

追試験の受験許可事由

事由	必要証明書
忌引	会葬の礼状等その事実を明らかにするもの
病気・けが	病院発行の診断書・入院証明書
災害	罹災証明書
公共交通機関の不通・延着	該当交通機関発行の遅延証明書等
交通事故(通学時のみ)	警察署発行の事故証明書
就職試験(定期試験期間のみ)	就職試験受験が証明できるもの

2.再試験について

本試験または追試験において成績が不合格であった者およびレポートまたは実技試験の課題を

期限内に提出できなかった者に対しては、あらためて再試験を行います。

3.再試験を受験しようとする者は「再試験票」を担当教官より受け取り、受験料(いずれも1科目つき3,000円)を添えて事務室に届け出てください。

4.追・再試験の時間割等必要な事項は、掲示で通知します。

5.再試験における不合格者は、原則として再履修しなければ単位の取得ができません

ん。

4 成績評価について

1.成績評価の標語

(1)成績評価の標語は、秀、優、良、可、不可の5段階とします。

(2)成績等による評点は、以下の通りとする。

標語	秀	優	良	可	不可
点数	100～90	89～80	79～70	69～60	59以下

(3)秀、優、良、可を合格、不可を不合格とします。

2.追・再試験の成績評価

(1)公欠及び忌引のために、試験を受験することができなかった者の追試験の評価は100%とする。

ただし、その他校長が追試験を認めた場合の成績評価の評点は、試験の評点の80%とする。

(2)追試験の成績評価の評点は本試験の評点と同等とし、また再試験における合格者の成績評

価は、「可」を原則とします。

3.試験結果の通知

(1)本試験の詳しい成績は、指導教員に申し出れば個人的確認できます。

(2)追・再試験の可否は、指導教員に申し出れば個人的確認できます。

(3)成績の通知は学生本人には、各学期末に成績通知書により個別に通知するまた第1学年

終了時には保護者宛に郵送します。

4.学籍簿、成績証明書等に記入する成績評価は、標語を使用します。

5.学則に示された科目の時間数は、原則として分割認定はしません。

6.通年科目の成績は、学年末に前期および後期試験の成績に基づいて総合的に評価します。

5 GPA制度

1.GPA制度と目的

GPAとは、Grade Point Average（グレード・ポイントアベレージ）の略で、欧米で一般に行われている成績評価制度のことである。

成績評価(秀、優、良、可、不可)を成績値(グレート・ポイントGP)に換算して GPA(成績平均値)を算出する。

2.成績評価の判定基準とGPAの算出は方法

評価	評点	GP	評価内容
秀	100～90点	4	特に優れた成績である
優	89～80点	3	優れた成績である
良	79～70点	2	概ね妥当な成績である
可	69～60点	1	合格に必要な最低限を満たした成績である
不可	59点以下	0	合格には至らない成績である
F	—	0	出席時数が全授業時数の80%に満たない場合

GPA算出方法

学期 GPA = (当該学期の履修科目の GP × 当該科目の単位数) の総和

当該学期の履修科目の総単位数

累積 GPA = (全学期の履修科目の GP × 当該科目の単位数) の総和

全学期の履修科目の総単位数

(例) GPA算出方法

授業名	評価	単位数	G P	単位×ポイント
美容技術理論	優	1	3	$1 \times 3 = 3$
美容実習	秀	3	4	$3 \times 4 = 12$
関係法規	可	1	1	$1 \times 1 = 1$
		5 単位		16 点

$GPA = 16 \text{ 点} \div 5 \text{ 単位} = 3.2$ $GPA 3.2$

6 GPA制度の利用目的

1. 学生自身が自分の成績を的確に把握して、適切な履修計画と学修への取り組みに活用する。
2. 就職や編入学の際に成績の参考資料とする。
3. 奨学金授与等における成績判定に利用する。

